



松田美恵さんの絵

第380回例会 1966.11.29(火)晴

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや (2) 0707・2838番

事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

BETTER WORLD
THROUGH ROTARY
(ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会員数	58名
	出席数	48名
	出席率	82.76%
前回の出席	前回出席率	75.86%
	修正出席数	52名
	確定出席率	89.66%

欠席者 八丁目君、森田君、佐藤(寅)君、中台君
五十嵐(三)君、岩網君、金井君、荘司君

メックアップ

千葉君、三井(賢)君、五十嵐(伊)君、
佐藤(昇)君、金井君、藪田君、三浦君
— 鶴岡西RC
阿部(公)君— 酒田RC

ピシター

真島孝一君、菅君利郎君— 酒田RC
原田行雄君、桜井瑞男君— 鶴岡西RC

ソング

それでこそロータリー
リーダー 三井(健)君

司会

会長 早坂源四郎君

会長報告

- (1) 先日賜恩園の園長さんが見えられ、後援会を作る事になりましたので協力して戴きたいとの御依頼がありました。当クラブの佐藤(寅)君が賜恩園の理事でもあり、又この後援会の発起人には小花、阿部(公)の両君も居りますので当RCでも若干考慮しなければならぬと思いますが社会奉仕委員会で充分検討して下さい。
- (2) 会計のことについて去る15日理事会を開催した処、千葉会計より本年度下半期より若干会費を上げなければその運営が困難である旨報告があり、理事会もこれを諒承しました。就きましては次の例会に千葉君より上半期の会計の実情を説明して戴き皆さんの御賛同を得たいと思っております。県内各RCの会費等を考慮し理事会としては3,600円(年額)の案でございます。
- (3) 札幌南RCの阿部長三氏(鶴岡出身、北海道木材株式会社社長)より親愛なる鶴岡RCの皆さんへとしてお手紙が参ってます…… 次号に掲載の予定。
- (4) 出席率で一言…… 7月より前回例会までの各人別出席率を総計致しましたがその結果を発表しますと、100%が33人、90~99%が9人、80~89%が4人、70~79%が4人、60~69%が0人、60%未満が何と8人も居ります。出席奨励委員会はこの60%以下の方が12月には100%出席されます様強く要望して戴きたいと思えます。RCでは6ヶ月間に60%以上出席しなければならない事は皆様御承知の事と存じます。出席率向上のため一層の御努力を願います。

卓話

遠洋底曳網漁船第十幸福丸

原田漁業株式会社社長

原田 行 雄 (鶴岡西RC会員)

船と漁の話ならばぶっつけ本番でお話しましょう。私は以前加茂の底曳漁船に乗りました。戦後本間水産(加茂)の船に乗る船長、漁撈長としてサケ、マスの漁獲に当り、7年間北洋の海の経験がございます。

御承知の方もあるかと存じますが漁獲量3年連続全国一を獲得しました。それで私の事を『原田は善宝寺の近くに住んで善宝寺を信心するから大漁するんだ』とよく云われました。鶴岡西RCチャーターナイトの時に和尚さんからもお話ありましたが、善宝寺は漁業者の寄進により本堂が建立されたわけです。

私は金沢の生まれですが金沢には原田に続く漁撈長が多く出ます。不幸にして北洋の海で遭難した人も居ります。私は現在もサケ、マス漁業もやっていますが外国に行ける様な優秀な底曳漁船を持つことが永年の計画でありましたが今回ようやく実現し、第十幸福丸の竣工を見ることが出来ました。

3年程前、山形県に唯一隻その許可があり、幸い私は海洋漁業生産組合長をやっていた関係から政治的にもその功が実り沿岸漁業振興の為と云う事でもらったものです。

この船は北洋の海でもっぱら底の方にすんでいる魚を獲るもので、冬、(12月～3月)はスケソウ、夏場(5月～10月)はオヒョウカレイ、メヌキタイ、ギンダラが主です。

獲った漁はその場で(-)C30°位の急速冷凍をやり保管しますことのできる漁撈と加工両設備をもった船でございます。私は去年からこの底曳船がよいと云う情報を得て北海道や東海岸の実際やっている人々から色々聞いて参りました。

この権利を持っているのは全国で111隻で④、日本水産、日管のような大会社が主として持っています。民間では秋田、新潟、富山には現在売ってしまって1隻もなし山形1隻、石川3隻、福井1隻、京都2隻と日本海沿岸には数える程しかありません。

皆さんが寿し屋に参りますとモンゴイカと云うのが出されますが、これはアフリカで獲って急速冷凍したものです。湯野浜温泉でも地元魚が獲れないとアフリカタイがよく使われます。これも冷凍です。

今までは小さい魚は大体(-)C20°位で冷凍したのですが、現在大きいマグロの様な魚は(-)C40°位に急速冷凍加工します。それを解凍してさしみにした場合生と殆ど味が変わらないと云われています。そこで最近漁船の冷凍設備の改造がよく行なわれています。私の船もこの点を

考え新しい設備を持っています。

オヒョウカレイは大きいになると量1枚位もあり、4～5人でなければ持てません。この様な大きい魚とギンダラ、メヌキタイの様な魚とは冷凍設備のセットが違います。1日15噸位の魚は3時間で急速冷凍出来ます。冷凍されたものは漁倉(-)C25°にベルトコンベアで運ばれ保管されるわけです。冬場操業のスケソウは水を若干持って行き(-)C5°位になる様冷凍機を作動し殆ど生で持って来ます。スケソウは主にすりにして、かまぼこ等の材料にされます。

漁場はカムチャッカの西、オホーツク海と東の北部太平洋、アリューシャン列島北のベーリング海、東はカナダのブルストル湾等です。最近カナダとアメリカで選管水域12哩とか云われていますが、今の処大した問題もない様です。

この間私の会社の船が試験操業をやって居りました時、ソ連の船が金華山沖8哩位の処で操業してましたが、ソ連の船でも実際は8哩の処まで来てるわけです。

底曳漁の水深は大体1,000M位の処まで網を入れます。第十幸福丸の漁法はスタン式オットロールと云って九州の方から入って来た漁法です。開口板を使って始めから網をおろす方法です。

それから乗組員ですが北洋のサケ、マス漁の場合でも22～23人乗って行くわけですが、今度のこの船は315噸もありながら20人内外で充分冬場操業が出来る様新しい色々な設備が整っています。

漁倉には11万貫の魚が入る様になってますが漁場に恵まれますと大体二昼夜で満載できます。一網1万貫位入りますが、それが全く人手をかけずに漁倉までコンベアで運ばれます。

船の方だけで1億6千万円、漁具その他が2千万円かかりました。

例会終了後希望者で鶴岡西RC会員と同行、酒田港岸壁に第十幸福丸見学、その竣工を祝福しました。

◆ 幹事報告

会報到着一村上RC

例会日変更一佐沼RC 毎(木)曜日 12.30～13.30

スマイル

石井君一早退

千葉君一令嬢(雑野悠子さん)が松竹歌劇中南米公演を終了無事帰国

献立

さしみ一鱸、焼物一鮭味噌漬、味噌汁一大根、ねぎ、油揚